

ちょっと気になるデータ

# 就業形態により異なる非正社員になった理由

11月4日に厚生労働省から公表された「就業形態の多様化に関する総合実態調査」によると、出向社員を除く正社員以外の労働者が現在の就業形態を選んだ理由（複数回答3つまで）は、「自分の都合のよい時間に働けるから」が37.9%で最も高く、次いで「家計の補助、学費等を得たいから」30.6%、「家庭の事情（家事・育児・介護等）と両立しやすいから」25.4%、「通勤時間が短いから」24.8%などとなっている。

就業形態別にみると、①「パートタイム労働者」では「自分の都合のよい時間に働けるから」50.0%、「家計の補助、学費等を得たいから」36.3%、「家庭の事情（家事・育児・介護等）と両立しやすいから」33.7%、②「契約社員（専門職）」では「専門的な資格・技能を活かせるから」46.0%、「正社員として働ける会社があったから」31.8%、「より収入の多い仕事に就いたから」21.0%、③「派遣労働者」では「正社員として働ける会社があったから」37.7%、「専門的な資格・技能を活かせるから」23.7%、「より収入の多い仕事に就いたから」18.5%、「自分の都合のよい時間に働けるから」18.4%などとなっている。就業形態によってその就業形態を選んだ理由は異なる。

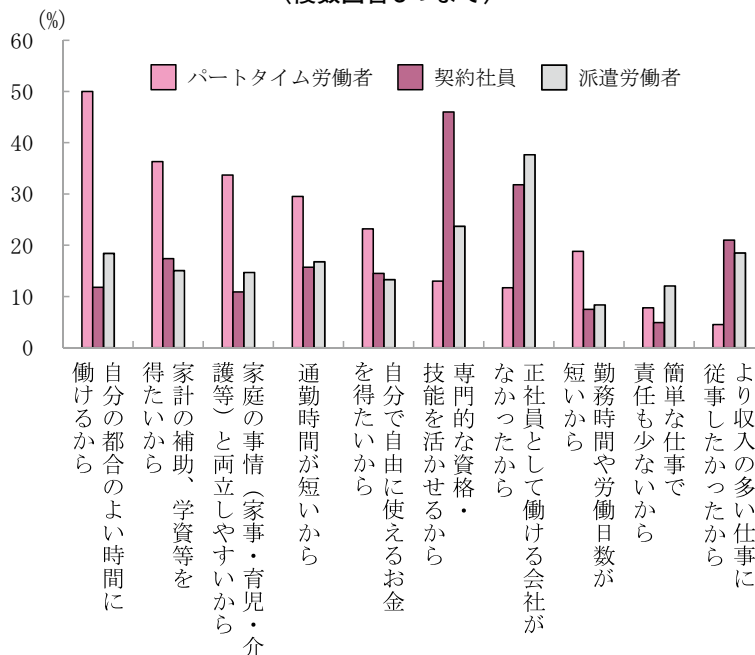
前回平成22年調査と比較すると、「正社員として働ける会社があったから」とする割合は、前回22.5%、今回18.1%と低下しており、就業形態別にみても低下している（パートタイム労働者：前回16.0%、今回11.7%、契約社員：同34.4%、同31.8%、派遣労働者：同44.9%、同37.7%）。

なお、総務省「労働力調査（詳細集計）」でも、非正規の職員・従業員のうち、現職の雇用形態につ

いた主な理由が「正規の職員・従業員の仕事がないから」である者の占める割合は、このところ減少傾向にある（平成25年1～3月期19.9%→平成27年7～9月期17.0%）。

（調査・解析部）

現在の就業形態を選んだ理由別労働者割合  
（複数回答3つまで）



（注）「正社員以外の労働者（出向社員を除く）計」における上位10までの現在の就業形態を選んだ理由を掲載

現在の就業形態を選んだ理由が「正社員として働ける会社があったから」である労働者割合

